

# 第18回千葉県少年野球地域対抗6年生選抜大会

2019年 11月24日(日)雨順延・11月30日(土)・12月1日(日)


・習志野 第一カッター球場 (秋津球場)      ・市原 ゼットエー野球場  
 ・船橋 船橋市民野球場                      ・松戸 松戸運動公園野球場

《参加チーム》 各地域選抜チーム (千葉地域は2チーム)



## 《試合結果》

トーナメント表は県HP試合結果に掲示しております。

-  **優勝 柏地域**
-  **準優勝 東葛地域**
-  **第三位 東総地域**
-  **第三位 船橋地域**



### ★ 柏地域 主将 本砂 柊海 (モスナ シュウ)

僕はこの柏選抜の結団式の時、監督からキャプテンを指名され、自分に務まるか心配でした。しかし、そんな僕が声を出せるようになり、チームも形になっていく中で感じたことがあります。それは、全員野球の大切さです。自チームでは1試合フル出場が当たり前でした。ですが、選抜では守備専門や打撃専門、走塁専門などそれぞれ個性をもった選手が20人も集まり、試合中、場面場面での交代は当たり前でした。僕は「勝つための野球」とはこのようなことなのだと思えて実感しました。また、人それぞれ違っても集まれば1つになることを学びました。僕はこの柏選抜で学んだことを中学野球に活かしていきたいと思っています。



### ★ 柏地域 推薦選手 鬼頭 智大 (キトウ チハル)

僕はピッチャーとして全試合を投げました。みんなの守備にも助けて貰いながら、いいピッチングができたと思います。打撃では、大会初戦からイメージ通りのバッティングができていませんでした。決勝戦、同点で迎えた5回二死二・三塁で、打順が回って来て、すごく緊張しました。ここは絶対打つぞ！！口という気持ちで打席に入りました。2球目をセンター前へはじき返して勝ち越すことが出来ました。優勝出来てすごく嬉しかったし、選抜チームで野球ができて楽しかったです。



### ★ 柏地域 監督 高野 範哉 (タカノ ノリカ)

毎年各地域の選抜チームの活動が少しずつ早まっている中、柏地域のスタートは9月後半で、かなり遅い時期からの始まりでした。2か月半の中で、どのようにチームをまとめて行くか？考えれば考えるほど悩んでしまいました。この短期間では技術的指導は難しいと考え、チームとしてどんな戦い方をするのか。この一点に集中して子供達に厳しく指導して来ました。全選手がスタッフの考えを理解してくれ、チーム一丸となって戦えたことが良い結果につながったと思います。本当に今年のチームは、まさしくONE TEAMでした。



### ★ 東葛地域 主将 小沢 拓真 (オザワ タクマ)

松戸選抜チームに選ばれた事が何よりうれしかった。キャプテンに選ばれ緊張と不安でいっぱいでしたが、練習試合などを行っていきなかで、チームみんなが声をかけあい東葛予選でチームが1つになりました。開会式ではみんな体が大きく、この大会のすごさを感じた。決勝戦で柏選抜に負けてはしまいましたが最後の2チームまで残れた事は本当にうれしかった。最高の仲間たちで戦う事ができ準優勝を取れたことは僕達全員がこれからの野球に役にたつと思います。監督、コーチ、応援してくれた家族にお礼を言いたいです。ありがとうございました。



### ★ 東葛地域 推薦選手 荒野 洸飛 (アライ ヒト)

僕がこの大会で印象に残っているのは、準決勝の延長です。以前対戦した時に打てなかったのが、強い気持ちで打席に入りました。ホームランを打って、仲間の所に帰ってきた時、嬉しかったです。この大会では1個の四球で流れが変わる場面を何度かみしてきました。改めて、一球で流れが変わるスポーツだと思いました。一球一球、大切にしたいです。選抜では、他のチームの打撃や守備の良い所を学びました。試合を重ねるとともに仲が良くなり、絆がうまれました。このメンバーと試合ができた事に感謝しています。



### ★ 東葛地域 監督 田口 良伸

松戸選抜として野田市、流山市に勝利し、東葛地域代表としてこの千葉県大会に進むことが出来ました。東葛地域としては初の準優勝と聞いております。これも選手の頑張りや支えていただきました父母の方々、またチーム関係者みなさまのおかげです。本当にありがとうございました。東葛地域での2試合、そしてこの大会での4試合はみな激戦でした。特に2日で4試合を戦い抜いた選手たちの集中力は素晴らしいものがありました。決勝戦では惜しくも敗れましたが最後の最後まであきらめず素晴らしいゲームをしてくれました。このゲームを忘れず選手たちは次のステージでも輝いてほしいと思っています。